



うらぼる

町議会だより

第139号

平成20年4月25日発行



さあーいくぞ！（提供：フォトサークル21）

3人目から無料（保育料）

2P

総額83億円の予算を可決

4P

6人の議員が登壇（一般質問）

7P

第3子から保育料を無料

第1回定例会は、3月3日から13日までの11日間の会期で開かれた。平成20年度一般会計、10特別会計当初予算（4ページ）、産炭地基金を利用した新産業創造等の助成に関する条例の制定など16件の条例、平成19年度各会計補正予算、産業建設常任委員会から提出された「道路の中期計画の推進に関する意見書」など原案どおり可決した。一般質問は、6人の議員が登壇し、6項目について理事者の考えをたずねた。（7ページ）



園児20人の入園式（浦幌幼稚園）

主な議案

子育て支援

町立の幼稚園、保育園、へき地保育所の第3子以降の保育料を平成20年4月1日から無料化する。

さらに保育園、へき地保育所に第1子、第2子が同時に入園している場合は、第2子に係る保育料を半額とする条例の改正をした。

未就学児の

医療費無料

本町独自の子育て支援策として、就学前の子どもの医療費を無料とする条例の改正をした。

産炭地基金で

新起業

産炭地基金の割当額2億900万円を利用し、本町で新たな産業の創造等に資する事業

を行う企業・団体など（二以内）とした助成制に対し、「釧路産炭地域総合発展機構」の制度に基づき、1億円を限度（総事業費の三分の一）に設ける「浦幌町新産業創造等事業の助成に関する条例」を制定した。



白井壽雄氏の再任に同意

固定資産評価審査委員会委員

町固定資産評価審査委員会委員の白井壽雄氏（60歳）が、任期満了となることから再任することに同意議決した。

任期は平成20年5月10日から

平成23年5月9日までの3年間

厚内漁港の補修

公有水面の埋立

厚内漁港の荷揚げ場、係留場の岸壁の基礎部分補修のため、北海道知事から求められた、公有水面埋立免許に関する意見は、埋立することに賛成多数で可決した。

行政区の数3減

行政区の合意により平成20年4月から新たに再編する「浦幌町行政区設置条例」を改正した。
改正後、町の行政区総数が62区から59区となる。



係留場岸壁の補修工事が進められる厚内漁港

年金から徴収

法律の改正に伴い、65歳以上75歳未満の高齢者世帯主に課税される国民健康保険税は、高齢等年金給付から特別徴収とする「浦幌町国民健康保険税条例」を改正した。

法令の規定により、戸籍に関して、一部無料で証明できることとされているものに、徴収免除規定を設ける「浦幌町手数料徴収条例」を改正した。

戸籍証明手数料

新たに再編された行政区

| | | | |
|---|---------------|---------------|--------------|
| 新 | 新桜町区 (79戸) | 末広町区 (24戸) | 宝町区 (84戸) |
| 旧 | 新町区 桜町区 | 末広町区 材木町区 | 宝町2区 宝町3区 |

(戸数は平成20年3月3日議決現在)

第1回臨時会

2月19日

寒い冬に一助

灯油価格高騰に伴い、福祉灯油給付に405万円を追加する一般会計補正予算の専決処分を承認議決した。

低利率に借換え

高い利率の公債費を繰り上げ償還し、利率の低い長期債に借り換えする一般会計、公共下水道特別会計補正予算を原案どおり可決した。

和解調停案可決

帯広簡易裁判所に民事調停の申し立てをしていた、浦幌商工業協同組合に対する貸付金4390万円と、弁済遅延損害金の未返済金について、相手方と総額250万円で和解とする調停案を賛成多数で可決した。

第2回臨時会

3月24日

給料30%減額

浦幌商工業協同組合元役員に対する、貸付金請求調停事件は、3月21日、帯広簡易裁判所で調停成立した。
町長、副町長は、多額の損失を町に与えた責任は大きいとして、自ら、給料支給額の30%を4月から6月まで3カ月間減額する条例案を提出し、これを原案どおり賛成多数で可決した。

平成20年度予算

総額83億252万円

少子化対策に新規事業盛り込む

保育園・幼稚園の第3子以降の保育料無料化、乳幼児医療助成事業などを盛り込んだ一般会計予算は、51億2800万円、公共下水道終末処理場改築事業を含んだ10特別会計予算31億7452万円を可決した。

予算質疑

歳出

○一般会計○

税の滞納整理

問 十勝市町村税滞納整理機構に納める負担金に見合う回収はあるのか。

答 必ず負担金以上徴収されているということではない。金額が下回っているも、税の公平性からお願いしている。

農業費

問 心土破碎事業の今後の考えは。

答 農協と協議、平成20年度に向け計画している。

通年雇用に向け

問 ふるさと東十勝通年雇用促進協議会負担金の内容と実績は。

答 季節労働者の通年雇用実現のため、東部十勝6町で構成する協議会が行う事業運営経費である。

本町は、管内で初めて2人が通年雇用された。

資格取得促進支援事業で大型自動車免許を1人が取得し、取得にかかった経費の一部の助成を受けた。

伐木等特別教育講習会、小型移動式クレーン講習会に計15人が受講し、それぞれ資格取得されたが、今回は、季節労働者の受講はなかった。

自動体外式除細動器(AED)の設置

問 総合スポーツセンターなどに設置したA

E D、他の施設への設置計画は。

答 2月に寄贈された11台を、教育関係に6台、町長部局に5台設置した。



普通救命講習でAED装着を学ぶ(浦中3年生)



元気いっぱい高齢者スポーツ大会

後期高齢者医療

問 後期高齢者医療保険に対する高齢者の方への周知は。

答 寿大学、9単位老人クラブ、地域住民対象に4カ所で説明してきた。
今後、個人5人以上に出前講座も考える。

問 保険料を滞納した場合は。

答 最終判断は広域連合がする。

林業振興費

問 町単独事業で、170万円の人工林保育事業を予算化しているが、国から市町村への交付金事業として、「美しい森林づくり基盤整備交付金」事業情報がある。これらを把握しているか。

答 情報は得ているが、内容はほとんど決まっていない。
わかり次第、できるだけ早く対応していく。

貸付金の契約は

問 (株)ユーエムへの貸付金契約はどのようなになっているか。

答 19年度分は、3月31日までに償還いただし、20年度は4月1日付契約で長期貸付に変更する。

まちづくり 交付金事業

問 灯油などが大幅に値上がりしているが留真温泉への影響は。

答 木質系等の代替エネルギーの利用を考えたい。

防災訓練

問 防災マップの活用と、防災訓練の状況はどのようなになっているか。

答 マップは、全戸に配布し、津波の関係は今年見直す。
防災訓練は、2年に一回厚内地区で実施していたが、今年は市街地区を予定している。

○模範牧場会計

基金繰り入れ

問 3年ほどプラス決算であったが、また基金繰り入れ状態となってきた。

搾乳の抑制、預託頭

数の減少事情は理解できるが、運営感覚ではなく、経営感覚をもつて対処すべきでないか。

答 収入的には、年々入牧が減ってきている。人件費を含め、最大限の経費節減に努力し

ている。
農協との絡みもあるが、和牛の入牧検討時期にもきている。

指定管理者制度も検討に加え、現場と協議し、良い方向性を探る。



モー少し入る余裕があるよ (模範牧場)

主な事業予算

- 保育園、幼稚園の第3子以降児童の保育料無料化
271万円(新規)
- 妊婦健康診査助成事業(5回分まで) 188万円
- インフルエンザ予防接種助成事業 243万円(拡大)
- 乳幼児医療助成事業 900万円(拡大)
- 高級菜豆産地づくり事業 70万円(新規)
- 優良肉用繁殖雌牛導入促進事業 96万円(新規)
- 農地・水・環境保全向上対策事業(相川地区) 156万円(新規)
- 道営貴老路地区担い手支援型畑地帯総合整備事業 2502万円
- 道営中浦幌地区担い手支援型畑地帯総合整備事業 2600万円
- 道営幾千世地区担い手支援型畑地帯総合整備事業 880万円
- 道営下浦幌地区担い手支援型畑地帯総合整備事業
250万円(新規)
- 地籍調査事業 3664万円
- 21世紀北の森づくり推進事業 1949万円
- 人工林保育事業 174万円(新規)
- 森林整備地域活動支援事業 750万円
- 駅停沢線林道開設事業 7142万円
- 道営厚内漁港整備事業 2200万円
- さけ荷捌き施設改修事業 250万円(新規)
- 町道北栄北2丁目通道路整備事業 5106万円
- 町道光南4丁目通道路整備事業 4803万円
- 町道北栄大通道路整備事業 2110万円(新規)
- 町道相川北2号凍雪害防止事業 2731万円(新規)
- まちづくり交付金事業 5123万円
- 特別支援教育支援員配置 234万円(新規)
- 中学校教育用コンピューター更新事業 537万円
- 青少年道外交流事業 128万円
- 公共下水道終末処理場改築事業 6547万円
- 個別排水処理施設設置事業 1600万円
- 釧路産炭地域基盤整備事業**
- 町有住宅火災報知機設置事業 158万円
- 農業振興対策事業 600万円
- 町道万年統太線舗装補修事業 1500万円
- 厚内小学校、上浦幌中央小学校トイレ洋式化事業 640万円
- 上浦幌中央小学校屋内運動場外壁改修事業 450万円
- 公民館耐震診断事業 930万円
- 町民球場改修事業 1600万円
- 総合スポーツセンター改修事業 400万円
- 簡易水道統合事業 707万円
- 貴老路簡易水道浄水場施設更新事業 1200万円

○診療所会計○

夕方の診療

問 火曜日、午後5時45分から午後6時30分までの診療を行っているが、条例に明記されていない。
実態に合った条例に

改正してはどうか。

答 条項の運用で行っているが、検討する。

医師の送迎

問 安全性を考慮し、職員が運転している医師送迎の改善策は。

答 平日は、職員対応。休日は営業車を使用し

ている。

歳入

滞納繰越金

問 予算額が前年度と同額で計上されている理由は何か。

答 滞納繰越額は各年度違う。

実態のまま予算を組むことは、歳入欠陥を起すことも考えられ、予測収納可能額で計上している。

能か。

商工会発行券

問 町の公共料金の支払いに、商工会発行のカードなどの利用は可

答 地元の消費拡大と住民の利便性に配慮し、4月1日から導入する。ハマナスカード・ハマナス商品券のみとし、使用できる窓口は、役場出納室、帯広信金浦幌支店に限定される。

一般質問



運営母体組織は出品予定者で（昨年試験販売）



二瓶 隆議員

二瓶議員
本年度、産業交流施設（道の駅）の実施設計を行う予定であるが、試験販売後の審議状況はどうだったか。

「道の駅」審議状況

運営母体組織を前提

に、運営母体組織を作ることを前提に出品者会議を開催した。

二瓶議員

専門家や有識者の意見を聞く考えは。

町長

準備委員会において「道の駅」の先進地視察を行い、アドバイスを受けた。

今後とも経験者や有識者を招いて意見を求める機会を設定するな

ど、特色ある産業交流施設の推進を図ってきたい。

二瓶議員

北海道開発局との協議内容は。

町長

施設区域内への安全な進入を確保するために、交差点付近における国道の右折、左折レーンの拡幅について協議を進めている。

漁港に上架施設

課題を整理する必要



差間勝男議員

差間議員
厚内漁港に上架施設（船揚場）がないことから、漁船の修理などは、大津港まで行かな

ければならない。漁船の管理や漁港の利用促進の点から、上架施設は必要と思うが、設置の考えは。

町長

利用頻度や漁業協同組合の設備投資に対する考え方、受益者負担など、いろいろな課題

を整理、調整する必要がある。受益者や関係機関、団体が十分協議、検討し、総合的に判断することが必要と考える。

一般質問

学校給食は安全か

国産品使用を原則



杉江 博議員

杉江議員
中国産食材の農薬混入問題で、食の安全に対する関心が高まっているが、学校給食の中国産品利用状況はどの

ようになっているか。

教育委員長

事件報道後、食材について調査したが、自

主回収分には含まれていない。

その後の使用予定分の仕入れ会社が同じだったことから献立を変えた。

杉江議員

食の安全面から、市場産品を利用すべきと思うが、考え方は。

教育委員長

国産品使用を原則と

する。

地産地消の通年供給は困難であるが、できるだけ利用したい。

杉江議員

給食費の改定予定はあるか。

教育委員長

20年度には、議論が必要。



「食の話」を熱心に聞く（上浦幌中央小）

脳梗塞治療は時間との勝負

救急救命に万全を期す

tPAについての町民への周知・啓もうと、救急救命対応はどのようになっているか。

町長

救急隊が傷病者接触時に、脳血管障害の疑い兆候がある場合は、帯広市の専門医療機関に直送している。

一刻も早く専門の医師の治療を受けること

が必要であり、適切な対応と啓もうに努めていく。

河内議員

tPA対応には、十勝圏の医療対応などの条件整備が必要不可欠だが。

町長

日本脳卒中学会が挙げているtPA治療を行う医療機関の条件を

河内議員

新薬tPA（脳梗塞治療薬）の有効制限時間が、3時間以内であることから時間的ハンデを抱えている。



河内富喜議員

一般質問



中尾光昭議員

貸付金の考え方

長期償還方法で支援

満たすのは、十勝管内で2病院と聞いている。管内医療機関と連携を綿密にし、迅速な救急救命活動に万全を期す。

中尾議員

貸付金、有価証券、出資の現状は。

町長

有価証券の保有は、平成18年度末現在、5社4681万円、出資による権利が23団体で7590万円となっている。

貸付金は、中小企業融資が4000万円。

水洗便所改造等資金が450万円。

ウタリ住宅改良資金貸付残高1407万円。

医療技術者等養成修学資金貸付残高は、1877万円。

地域総合整備財団貸付残高2236万円。

介護経営3団体で、6200万円。

(株)ユーエムが1300万円となっている。

中尾議員

商工事業協同組合のような認識の違いの問題が起きないような再発防止の考え方は。

町長

条例、規則に基づく

貸付金は、問題ないと考えている。

その他の貸付金は、商工事業協同組合の件を教訓とし、今後は、経営状況などを定期的

に把握し、適切な対応を図る。

中尾議員

貸付金の償還と支援の考え方は。

町長

規定のない短期貸付は、平成20年度から、長期貸付にし、毎年度計画的に償還してもらう考えである。

教育環境施設の整備

利活用・改築含め検討



野村俊博議員

え方は。

教育委員長

屋内体育館は、耐震強度不足が判明した。

校舎の耐震強度不足も明らかことから、改築に向け準備を進めていきたい。

野村議員

食の安全・児童生徒の少子化及び施設老朽化による、給食センターの改修は検討されているか。

教育委員長

浦幌町第3期町づくり計画で検討する。

野村議員

浦幌高校閉校に伴う影響と施設等の利活用についての考え方は。

町長

庁内に検討機関を設け、ランニングコストなどを調査し、利活用を検討する。

野村議員

浦幌中学校の耐震診断の調査結果と今後の維持・管理・整備の考



耐震強度不足とされる浦幌中学校校舎



栄町
関 正博さん

平成14年4月、転勤で浦幌町商工会に勤務してから早くも丸6年となります。

私は生まれも育ちも札幌市、前任地が北広島市で、広い北海道でも道央圏から出たことがありませんでした。

浦幌町で生活を始めて感じたことは、まちづくり・地域おこしのために、真剣に取り組んでいる方々が多く、いろいろな活動を行っていることです。

『気軽に声をかけて』



浦幌町商工会

このような活動をしている方々の接点となるような心がけてまいります。

この6年は、あっという間でしたが、商工会職員として、商工業発展、地域振興のため、五感を研ぎ澄ませ、町の声を聞き逃さず、助言ができるよう心がけてまいりますのでお気軽に声をかけてください。

意見書を提出しました

「道路の中期計画」の推進に関する意見書【要旨】

1. 道路特定財源については、平成20年度以降も、安定的かつ確実な道路整備のための財源を確保すること。
2. 地方が真に必要な道路整備や維持管理を行えるように、地方へ直接的に道路整備財源を配分すること。
3. 地方のさまざまなニーズに柔軟に対応する道路整備を進めるため、地方道路整備臨時交付金制度については、平成20年度以降も継続すること。

6月議会までに こんな調査をします

- 議会運営委員会
 - 議会の運営に関すること
 - 議会の会議規則等に関すること
 - 議長の諮問に関すること
- 総務文教厚生常任委員会
 - 貸付金の状況と償還計画について
 - 図書館・博物館の利用状況と今後の運営について
- 産業建設常任委員会
 - 第三セクター株式会社浦幌乳業の施設整備及び運営状況について

編集後記

広報委員として一年。この間「表紙を飾る写真」「まちの声原稿」など、町民のみなさまのご協力に感謝申し上げます。

3月定例会は、新年度予算審議が主で、町民のみなさまの関心あるものが多く、限られた枠の中で、よりわかりやすく見ていただくために努力しました。

今後多くの方々に楽しみにしていただけるようにと思っております。

(二瓶 隆)

発行・編集責任者

議会議長 田村寛邦
編集特別委員会

委員長 河内富喜
副委員長 森 秀幸
委員 中尾光昭
二瓶 隆
高橋利一